

## 東北 OB 会・春の行事

◎お桜見(4月14日)

本年も西公園の夜桜の下で現役の皆様と合同でお花見を行いました。宴会場はテントの中の為、ヒラヒラと舞散る花びらの下で盃を交わすような風流さは残念ながら味会えませんでした。それはそれで一升瓶をぶら下げた懐かしい仲間達が揃えば、それだけで楽しいもの。酒が進むにつれ昔話しに華を咲かせ、多いに盛り上がりおりました。

現役の皆様いつもありがとうございます。



久かたの光のどけき春の日にしづ心なく花の散るらむ

= 古今集より =

◎「伊達政宗謎解き散歩の集い」(5月23日)

いつもの現場見学会から今回はちょっと趣向を替え、歴史へのロマンを求めて“散歩の集い”を試みました。勿論、奥州の英雄“天下に夢を馳せた独眼竜政宗”の足跡です。

市街地を見下ろす仙台城(青葉城)は仙人が住む高殿という意味合いから伊達政宗の時代に“千代”から“仙台”と言う地名に名付けられたとか。元仙台市博物館館長の佐藤憲一氏をお迎えして、政宗の少年期、支倉常長欧州派遣、建造物に込められた想いと美術的価値、石垣修復工事の苦労話と出土品、城の再現の見込み等々について予定時間を遥かに越えての謎解きでした。それでも興味が尽きず駅前に移動。ビールを飲みながら長時間、勉強会でおさらい……。昔、これぐらい熱心だったらもっと仕事が取れたかも？なんて囁かれそうですが、部会長の佐々木康博さん、それに参加者の皆さん大変お疲れ様でした。

さすが“伊達政宗”

